

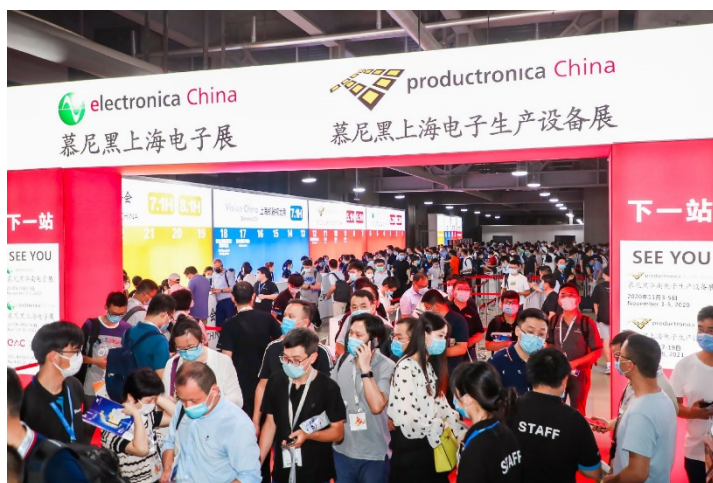
**ファイナルレポート**  
 国際電子部品・製造機器専門見本市  
 2020年7月3日～5日  
 中国・上海国家会展中心(NECC)

2020年7月7日

productronica China 2020 自信と強い信頼により成功裏に閉幕

**Summary**

- 出展社数 1,373 社  
来場者数 81,126 人
- electronica China と合わせて 90,000 m<sup>2</sup> の規模で開催
- エレクトロニクス製造業界の進歩は市場の再開と新しいインフラ開発により加速



**Facts & Data**

会 期	2020年7月3日(金)～5日(日) 午前9時～午後5時(最終日のみ午後4時まで)
会 場	中国・上海国家会展中心(NECC)
主 催	Messe München GmbH – メッセ・ミュンヘン MM (Shanghai) Co., Ltd. – メッセ・ミュンヘン上海
規 模	90,000 m <sup>2</sup> (2019年:90,000 m <sup>2</sup> )
出 展 企 業	1,373 社 (2019年23ヶ国1,374社)
来 場 者 総 数	81,126 人 (2019年77,765人)
主な出展品と 出展技術	<productronicaChina> SMT、はんだ付け技術、検査・測定技術・品質保証、製造サブシステム、製造補給・ マテリアルフロー技術、プリント基板・回路基材装置製造、ケーブル加工技術、コイル製品、 受託製造サービス(EMS)、オーガニック/プリント・エレクトロニクス、部品製造、 各種オペレーティング機器、関連サービス
出展日本企業 (現法出展など含む)	アポロ精工(株)、池上交易(株)、伊藤忠商事(株)、加賀電子(株)、(株)サンエイテック、 サンスター技研(株)、(株)島津製作所、昭興金属(株)、第一実業(株)、鍋屋バイテック(株)、 日本オートマチックマシン(株)、日本パルスモーター(株)、白光(株)、横河電機(株)、リコー ジャパン(株)、ヤマト科学(株) ほか(50音順)
専 用 U R L	<a href="http://www.productronica-china.com">www.productronica-china.com</a> (英語)

2020年7月5日、3日間にわたって開催された productronica China 2020 は成功裏に幕を閉じた。併催の electronica China と合わせて、出展社数は 1,373 社で、来場者数は 81,126 人にも上り、90,000 m<sup>2</sup>の展示スペースにはエレクトロニクス製造に関わる革新的なソリューションが紹介された。初日から大勢の来場者で賑わい、会場の皆が従来に増して熱心であったことから、エレクトロニクス業界は新型コロナウイルス感染症 COVID-19 のパンデミック(世界的な大流行)の状況から回復の兆しが見えたといえる。

主催者メッセ・ミュンヘンの専務取締役 Falk Senger は、「パンデミックが世界中のエレクトロニクス業界に大打撃を与えているにもかかわらず、中国は、今も、そして今後もグローバルな先端技術の発展にとって重要な拠点である。productronica China 2020 は中国におけるエレクトロニクス製造業界にとって重要なビジネスプラットフォームである。今回は、エレクトロニクス製造業界に新たな自信と希望をもたらし、業界発展への新しい道筋を示すお手伝いできたのではないかと考えている」と話した。



### 5G 技術の急速な拡大により、エレクトロニクス製造の新しい道が開かれる

今年の 5G 技術商業化の加速によって、スマート製造技術は今後ますます成長が期待される。5G の活発な発展によって、エレクトロニクス製造業界は、新たな急成長の時期を迎えることができるであろう。productronica China 2020 では、業界をリードする SMT 企業のパナソニックスマートファクトリーソリューションズ(株)、ヤマハ発動機(株)、タカヤ(株)、REHM 社、Zestron 社、ETERNAL 社、Scienscope 社、ELECTROLUBE 社、MACDERMID ALPHA 社などが革新的な製品やソリューションを出展した。REHM THERMAL SYSTEMS 社の Andy Wang 氏は、「productronica China は非常に専門性が高く、包括的なサポートと様々な市場サービスを提供してくれるため、当社は出展している。次回の 2021 年も出展する予定だ」と語った。

### 新しいインフラの開発が電気自動車用ワイヤーハーネス市場を促進

電気自動車の今後の普及により、ワイヤーハーネス市場が新たなステージを迎えようとしている。ワイヤーハーネスにおける電気自動車の厳しい要件を考慮し、productronica China 2020 では、原材料、生産、製品仕様の面で改良された高圧ワイヤーハーネスソリューションに焦点を当てた。日本オートマチックマシン(株)、Komax 社、Schunk Sonosystems 社、Hiprecise 社、True Soltec 社など、多くの出展社が最新の製品やソリューションを発表した。

Komax (Shanghai)社の Sean Rong 氏は、「productronica China は一言で言うと、プロフェッショナルである。この専門性の高さが、多くの来場者を集める秘訣だ」と評価した。

### 製造インテリジェンスプロセスの加速により、スマートファクトリーを促進

スマートファクトリーでの大規模かつ多様な製品の柔軟な製造は、抽象的な概念から完全に達成可能な目標へと移行した。productronica China 2020 では、エレクトロニクス製造における新しいスマートファクトリーソリューションを幅広く提供する多くのオートメーション関連企業が出展した。Universal Robots 社、HIWIN 社、JAKA 社、ELITE 社、Aubo 社、IPLUS Mobot 社、STANDARD ROBOTS 社、Youbot 社など、中国国内外のロボット関連企業に加えて、Pepperl+Fuchs社、Automics 社、Banner 社といった産業用センサー関連企業や、B&R 社、Beckhoff 社といったオートメーション関連企業なども、エレクトロニクス製造業界向けの高度な革新的技術を紹介した。

B&R Industrial Automation (China)社の Guo Xuanyu 氏は、「来場者の質の高さに感激した。これが productronica China に出展する一番の理由で、今回の出展結果に大変満足している」と語った。

### スマートターミナルにより、ディスペンシングとケミカルエンジニアリングに新たなビジネスチャンス

productronica China 2020 では、ディスペンシング技術のための包括的なビジネスプラットフォームを確立した。Henkel 社、H.B.Fuller 社、Wanhua Chemical 社、Wevo-Chemi 社、SCHEUGENPFLUG 社、Hoenle 社、Plasmatreat 社、Marco 社、DOPAG 社、PVA 社といった出展社が、3C、オートモーティブ、半導体、5G 等の業界に向けた最新のディスペンシング技術、接着技術及びそれらの関連製品を発表した。

### 併催プログラム:スマート製造に焦点

今回も productronica China 2020 に併設して多くの業界関連のフォーラムが開催された。International Wire Harness Advanced manufacturing Innovation Forum では、Komax 社、Schleuniger 社、Rosenberg 社等から専門家を講演者として招待し、車載用ワイヤーハーネス加工やデジタル・ワイヤーハーネス加工等に関する見解が共有された。

The international Dispensing and Adhesive Technology Innovation Forum では、Hoenle 社、Nordson 社、HOLS 社の専門家を講演者として招き、様々な要件に対応するディスペンシングと接着技術のソリューションやアプリケーションについて討議された。

そして、今回始めて Smart Logistics hardware Solutions Seminar が開催されるなど、様々なプログラムも併催され、多くの聴衆を集め、高い評価を得た。

2020 年前半の静かな時を終え、エレクトロニクス製造業界は後半に向けての力強い回復の姿をこの productronica China で見せた。会場では、多くの商談が行われ、新製品のデモや革新的な技術とソリューションの発表も数多く行われ、パンデミック後の業界の発展に確実性が窺えた。パンデミックは人々を引き離したが、見本市における最先端の技術と業界のソリューションが人々を一つにした。



2021 年には productronica China と electronica China は、それぞれの見本市の拡大に伴い、時期を変えて開催される。

次回の productronica China は 2021 年 3 月 17 日から 19 日に SNIEC で開催される。また、これまでと同様に、LASER World of PHOTONICS China, Vision China 及び Semicon China と併催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページまで:[www.productronica-china.com](http://www.productronica-china.com) (英語)

資料請求、各種お問合せ先:メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目20-3 ノアーズアーク虎ノ門5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.de](http://www.messe-muenchen.de) (英語/ドイツ語)